

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2018年6月27日

2018年度 ミサワホーム CSR レポート

『HEARTH』を発行

- 業界初の「環境活動報告書」から通算 20 回目の発行
- 「持続可能な開発目標 (SDGs)」の 17 の目標との関連性について明確化
- 国際保証業務基準に準拠した第三者保証を 6 年連続で取得
- 国際的な CSR レポートのガイドラインである「GRI*スタンダード」に対応

ミサワホーム株式会社 (代表取締役社長執行役員 磯貝匡志) は、CSR (企業の社会的責任) に関する 2017 年度の取り組みとその成果をステークホルダーの方々に報告する 2018 年度 CSR レポート『**HEARTH**』を発行します。

ミサワホームは 1999 年に住宅業界初の「環境活動報告書」を作成し、環境マネジメントシステムの運用実績を中心に毎年報告を続けてきており、今回が通算 20 回目の発行となります。また、2007 年度からは社会的側面の活動報告を加えた CSR レポートになっています。

本レポートの名称である「HEARTH」は、「HEART (心)」と「EARTH (地球)」を一体化した言葉です。「HEART」は深く信頼されるミサワホームを、「EARTH」は地球にやさしいミサワホームを表し、CSR 推進活動のテーマとしています。

今回のレポートでは、社会を取り巻くさまざまな課題の中でミサワホームが重点的に取り組むべき項目について、2017 年度に実施した活動をテーマ別に詳しく「HEARTH AT WORK」にて紹介しており、国連による「持続可能な開発目標 (SDGs)」の 17 の目標との関係についても明確にしています。また、国際的な CSR レポートのガイドラインである「GRI スタンダード (2016 年 10 月 19 日発行)」にも対応しています。さらに、インク、用紙などに加え印刷工程も環境に配慮し、GP マーク (環境ラベル) を裏表紙に表示しています。

なお、情報の信頼性及び透明性向上の観点から、新日本有限責任監査法人 (本部 東京都千代田区 / 理事長 辻幸一) より、「マテリアル&エネルギーフロー」(P45) に記載のある重要なサステナビリティ情報に対して国際保証業務基準 (ISAE) 3000 及び 3410 等に準拠した第三者保証を 6 年連続で取得しています。

ミサワホームグループでは、今後も内容を充実させた CSR レポートを作成し、さまざまなステークホルダーの方々とのコミュニケーションの充実を図り、よりレベルの高い CSR 活動を推進していきます。

■CSR レポートの構成

【ABOUT US】(P3・4)

ミサワホームグループの概要と財務・非財務情報を紹介しています。

【MANAGEMENT HEARTH】(P5~P12)

トップコミットメントやミサワホームグループの基本方針、中期経営計画などの会社方針、CSR 経営について紹介しています。CSR 経営に関しては、課題を 9 つの区分と 23 の課題に再設定し、ステークホルダーにアンケートを実施、期待と評価の分析や重点課題の見直しを行いました。また、国連加盟国が 2016 年~2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」の 17 の目標との関連性について明確化するため、各章のタイトルに SDGs の関連項目のロゴを記載しています。

【HEARTH AT WORK】(P13~P36)

社会を取り巻くさまざまな課題の中でミサワホームが重点的に取り組むべき項目について、取り組む背景と 2017 年度に実施した活動をテーマ別に詳しく紹介しています。

① 低炭素で循環型の住まいづくり



自然の力を有効に活用する先進的な技術の開発により、より少ないエネルギーで快適さをもたらす住まいや、貴重な天然資源を有効に活用した住まいづくりに関する取り組みを紹介しています。また、埼玉県「先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業」に採択された分譲地「オナーズヒル戸田 緑テラス」や既存建物の耐震性や耐用年数を大幅に向上し再生させる「リファイニング建築」の実績についても紹介しています。

② 安全・安心な住まいづくり



自然災害への備えは、安全・安心な住まいづくりの重要な要素です。ミサワホームでは、独自の防災・減災ソリューション「^{ミサワエルシーバー}MISAWA-LCP」を住宅設計に組み込んでいます。また、住宅内の情報家電・電気機器をネットワークでつないで、住まいを IoT 化するサービス「^{リンクゲイツ}LinkGates」についても紹介しています。

③ 少子・高齢化社会を支える



少子・高齢化は、日本が直面する最大の社会課題のひとつです。子どもにとって安全・安心で心地よい空間づくりの調査・研究に取り組むほか、ミサワホームが開設・開園をサポートした子育て支援施設や、医療・介護・保育・商業・安心・住居などを備える複合商業施設「^{アスマチ}ASMACHI 浦安」をはじめとしたコンパクトシティ型のまちづくりについても紹介しています。

④ お客さま満足度の向上



新築からアフターサービス、メンテナンス、リフォーム、売却・賃貸管理を含めた不動産サポートまで、住まいのライフサイクル全体をサポートする「住まいるりんぐシステム」や住まいの価値を高めるさまざまな取り組みを紹介しています。また、暮らしの変化に対応するため「貸せる」「売れる」「返せる」「住み継ぐ」という選択肢を用意している「ミサワライフデザインシステム」の概要も掲載しています。

⑤ 働く環境の整備と働き方改革



従業員満足度の向上や生産性向上のために社長直轄の組織として「BR 働き方改革推進室」を設置、そこで取り組む主な活動内容を紹介しています。また、ワークライフバランスを充実させるために取り組んでいる労働環境整備についても言及しています。

⑥ 事業活動の環境負荷低減



事業活動のすべての段階において環境負荷を削減するよう取り組んでいます。省エネルギー、CO₂ 排出削減、省資源、廃棄物の適正処理など、木材の調達から工場での生産、輸送、建設と

いった生産活動および事務所活動に至るまでの環境推進活動を紹介しています。事務所における「省資源化」への取り組みは長年継続して行っており、社員一人ひとりの意識向上にもつながっています。

⑦ 社会貢献活動 

教育・科学・文化活動や、長野県松本市や宮城県宮城市、フィンランドで実施している森林保全活動など、継続性・一貫性を大切にして取り組んでいる社会貢献活動を紹介しています。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）の「宇宙探査イノベーションハブ」が実施した研究提案募集にて、ミサワホームの提案が採択され、共同研究を推進していき、日本の宇宙開発の発展に貢献していきます。また、南極昭和基地での活動や実績も紹介しています。

【GOVERNANCE】 (P37～P42)

ミサワホームグループのコーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンスについて紹介しています。また、ミサワホームグループが 2016 年度から 2020 年度までに達成すべき環境目標を定めた環境行動計画「SUSTAINABLE2020」や環境マネジメントシステムも紹介しています。

【DATA】 (P43～P47)

環境パフォーマンスや 2017 年度 CSR 指標実績、第三者保証報告書などをまとめて紹介しています。総 CO₂ 排出量※は 2015 年度比 18.7%削減、新築現場の廃棄物発生量は同 2.2%削減するなど、さまざまな項目で良化がみられました。

※ サプライチェーン全体における CO₂ 排出量

■ CSR レポート概要

- ・名称：2018 年度ミサワホーム CSR レポート「HEARTH」
 - ・体裁：A4 判 オールカラー 48 ページ
 - ・対象組織：ミサワホーム株式会社、工場、ディーラーを含むミサワホームグループ
 - ・対象期間：2017 年度（2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日）
 - ・必要に応じて 2016 年度以前及び 2018 年度以降の活動も記載しています。
 - ・配布先：お客様、取引先、株主、投資家、官公庁、NPO/NGO など
 - ・公開方法：WEB サイトに PDF 版を掲載するほか、希望者には無償配付
- GRI ガイドライン（GRI スタダード）対照表は WEB サイトに掲載しています。
掲載 URL：www.misawa.co.jp/misawa/csr/

以上



CSR レポート「HEARTH」表紙

この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

奥本博之 大倉海人

TEL : 03-3349-8088 / FAX : 03-5381-7838

E-Mail : Kaito_Okura@home.misawa.co.jp